

中学生ワークショップについて

1 ワークショップ概要

○実施形態：抽出校で授業を1時間（50分1コマ）、クラス、または学年単位で実施

○実施時期：6月10日（月）～6月21日（金）

○実施校：6校（小・中・大規模校で各区1校程度）

○実施日程：

- | | |
|---------------------|-------------|
| ① 北部中（北 区）：6月10日（月） | 全学年1～2クラス対象 |
| ② 三和中（西 区）：6月11日（火） | 全学年全クラス対象 |
| ③ 東町中（東 区）：6月12日（水） | 全学年全クラス対象 |
| ④ 江南中（中央区）：6月12日（水） | 全学年1クラス対象 |
| ⑤ 天明中（南 区）：6月17日（月） | 全学年全クラス対象 |
| ⑥ 出水中（中央区）：6月21日（金） | 全学年3クラス対象 |

○主な協議内容

- ・拠点校部活動について
- ・チャレンジクラブ（仮称）について
- ・新しい学校部活動の名称について

○ワークショップ実施状況



2 拠点校部活動について（主な意見）

【肯定的な意見】

- ・自分のやりたい部活が見つかる
- ・活動が充実し、大会に参加できる
- ・他校の人と仲良くなれる、コミュニケーション力が高まる。
- ・経験のある指導者に教えてもらえる
- ・交代でやれば先生の負担が減る
- ・人数が多くなり、競争心等が増し、競技力が高まる
- ・練習するスペースが確保され、練習の質や量がよくなる

【否定的な意見】

- ・移動が大変。特に遠距離は帰宅も遅くなり事故の危険もある。
- ・道具などの運搬が難しい
- ・行事や時間割等の違いがあり、急な予定変更等がうまく伝わらない
- ・移動時間により練習が十分にできない
- ・人数が多くなると、一人当たりの練習が減ったり、試合に出られなくなったりする
- ・ケンカやいじめ、対立などの人間関係が心配
- ・自分の学校の伝統が失われる
- ・自分の学校の名前、ユニフォームで出たい

3 チャレンジクラブについて（主な意見）

【肯定的な意見】

- ・気軽に楽しく活動できる
- ・体力に自信がない人も参加でき、健康になる
- ・大会や勝ち負けなどのプレッシャーを感じなくて済む
- ・他の部活や習い事をしている人、クラブをしている人も参加できる
- ・新しい趣味を見つけることができる
- ・部活に入りづらかった人が参加できる
- ・専門的な人から教えてもらえる
- ・週に1, 2回だと先生（指導者）の負担が減る

【否定的な意見】

- ・遊びになってふざけてけがが起きたり、ルールが守れなかったりする
- ・一所懸命な生徒にとっては遊び感覚でやっている人を邪魔に思う
- ・楽しみたいだけでやっている人に場所をとられるのは嫌だ
- ・チャレンジクラブに入る人が多いと、部活に入る人が減る
- ・複数種目を活動するなら、その度道具が必要で費用もかさむ
- ・専門の指導者、経験者がいるのか
- ・チャレンジクラブの指導は先生（指導者）の負担が増す
- ・わざわざ部活動でやらなくてよい